



第 45 号

砂防トピックス 青森

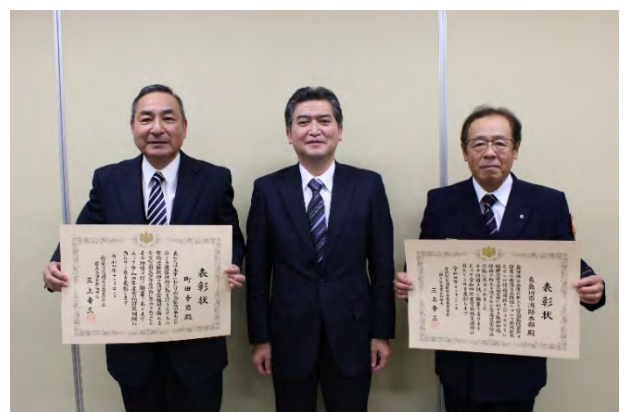
青森県河川砂防課 編集・発行（令和 5 年 2 月）

「雪崩災害防止功労者表彰式」及び「雪崩災害防止セミナー」青森県で開催

我が国は世界でも有数の雪の多い国です。国土の約半分が豪雪地帯に指定されており、そこで約2,000万人が生活を営んでいます。豪雪地帯は、北海道、東北、日本海沿岸及び山間部にわたって指定されており、これらの地域では大量の降雪だけでなく、雪が様々な影響を生活に及ぼしています。特に、山間部の住民にとって雪崩は大きな脅威であり、生活への影響のみならず、犠牲者を伴う被害も少なくありません。

国土交通省と都道府県では、防災・減災の取組の一環として、国民一人ひとりが雪崩災害の防止及び被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、毎年12月1日から7日を「雪崩防災週間」として定め、様々な取組を実施しています。その一環として、雪崩災害の特徴と対策等について理解を深めることを目的としたセミナーを今年度は青森県で開催しました。また、雪崩による災害防止に関して顕著な功労があり、他の模範として推奨に値すると認められる個人・団体の表彰式も同時に行われました。

Web配信と対面でのハイブリッド形式で行った本セミナーは、計150人の方々にご参加いただきました。ご参加くださいましたみなさまありがとうございました。



砂防施設効果事例

令和4年8月、県内各地で降った記録的な大雨は道路や河川にたくさんの被害をもたらしましたが、そんな中でも県で施工した施設が効果を発揮した事例も見られましたので、紹介します。

津梅川（深浦町大間越）では、上流域の山腹崩壊により多くの流木等が発生しましたが上流部には県の砂防堰堤が整備されており、流木及び土砂を捕捉し下流区域への被害を未然に防止しました。



また、中泊町（小金石）、鯉ヶ沢町（南浮田町）ではがけ崩れが発生しましたが、県の急傾斜地崩壊防止施設が整備されており、崩壊土砂を補足し、斜面下部の人家等への被害を未然に防止しました。



これらの事例は国土交通省のホームページにも掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

十和田火山緊急減災対策砂防計画検討会開催

青森県では、岩木山と八甲田山に続き令和3年度より、十和田火山噴火に備えた平常時準備及び緊急時の対策を行うことにより減災を目的とした、緊急減災対策砂防計画の策定に向けて、青森県、秋田県及び岩手県が合同で検討会を開催しております。

2年目となる今年度は、コロナ禍により昨年度実施できなかった現地視察を始め、専門家や構成員を招いての第3回検討会を開催し、様々な意見やアドバイスをいただきました。



第3回検討会開催状況



現地視察会開催状況

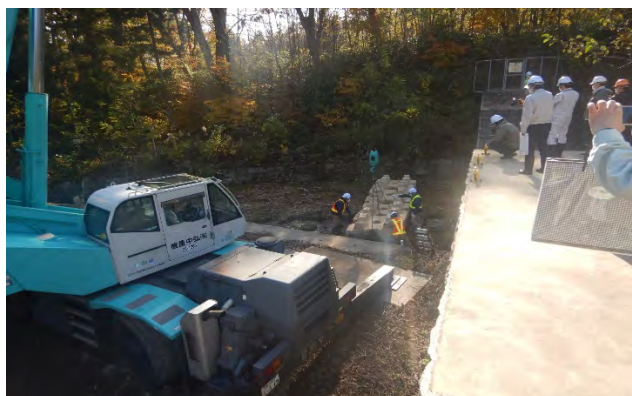
※ホームページで公表

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/towada_kazanhunuka.html

岩木山火山噴火に備えた仮設堰堤工造成訓練の開催

平成27年3月に策定した岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画に基づき、青森県が主催で弘前市及び青森県建設業協会と共同で初となる訓練を令和4年11月2日に開催しました。

当日は、百沢小学校跡地に備蓄しているコンクリートブロック（3.0t）を使用し、砂防堰堤直下にて、仮設堰堤造成訓練を実施しました。作業時間は概ね1時間程度であり、日当たり50個程度の施工が可能であることを確認しました。



仮設堰堤工造成状況（コンクリートブロック据付作業）



仮設堰堤工造成状況（コンクリートブロック据付完了）

※ホームページで公表

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/iwakisan-kazanfunka-iinkai.html>

土砂災害防止講演会 3年ぶりに開催

国土交通省と都道府県では、昭和58年から毎年6月を「土砂災害防止月間」として定め、梅雨や台風シーズンにおいて、県民一人ひとりが土砂災害の防止や被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、様々な取組を行っています。その取組の一環として青森県で行っている活動の1つが「青森県土砂災害防止講演会」です。

6月23日に開催したこの講演会は、県及び市町村の砂防・防災担当者や建設業関係者などの日頃から土砂災害に直接携わる機会の多い方のほか、土砂災害防止に興味のある一般の方も対象として、毎年行っておりましたが、近年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたため、3年ぶりの開催となりました。

弘前大学農学生命科学部の^{ツォウ}鄒助教、気象庁青森地方気象台の徳田土砂災害気象官の2名に講師をお願いし、令和3年8月に発生した下北北部の豪雨災害から学んだことや防災気象情報の利活用についてご講演いただきました。

2年連続豪雨災害が発生しておりますが、このような活動を通して土砂災害による人的被害の軽減に努めていきたいと考えています。



県土整備部長挨拶（代読 羽田河川砂防課長）



講演会の様子



鄒助教の講演



徳田土砂災害気象官の講演

編集・発行 青森県河川砂防課

〒030-8570 青森市長島 1-1-1 青森県河川砂防課内 TEL017-734-9670/FAX017-734-8191

河川砂防課ホームページ：<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/>

E-mail：kasensabo@pref.aomori.lg.jp